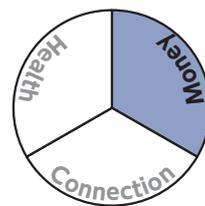


# 向こう1年間の市場見通し (4月10日時点)



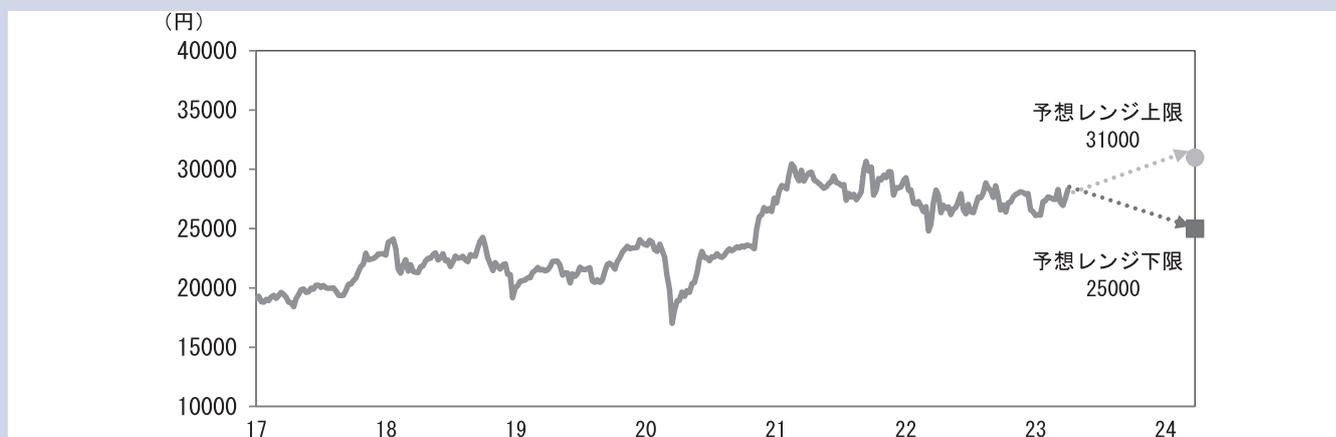
経済調査部 主席エコノミスト 藤代 宏一 (ふじしろ こういち)

## 予想コメント

	コメント
株式	日本株は企業業績の拡大を背景に底堅い展開を予想する。米国の金融引き締めが世界的株価下落を招く懸念はあるが、一方で中国経済の回復が支えとなる。もっとも、欧米景気の減速が想定以上となり日本企業の収益が圧迫される可能性に留意する必要がある。
ドル円	米国のインフレが峠を越したことで、FRBの利上げ終了が近づきつつあるとの見方からドルの先高観は薄れつつある。同時に金融市場参加者は年内の利下げを予想している。日米金利差縮小を見込む投資家のドル売り・円買いが継続しやすいだろう。
金利	黒田総裁は長短金利操作(YCC)を最後まで維持した。植田総裁は賃金上昇率が堅調に推移すればマイナス金利の撤回を含めたYCCの終了に着手すると予想される。その場合、10年金利は一時的に大きく上昇した後、1%をやや下回る水準で推移するだろう。

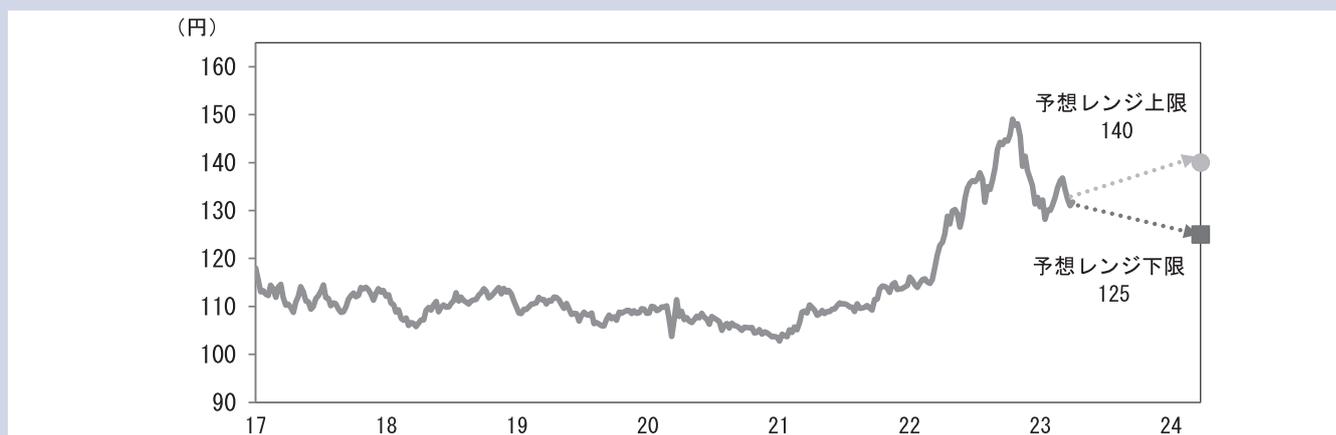
(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

向こう1年間の日経平均株価



(出所) Refinitivより第一生命経済研究所作成

向こう1年間のドル円相場



(出所) Refinitivより第一生命経済研究所作成